

■財政健全化指標関係 公営企業会計資金不足比率の状況

○法適用企業

(単位：千円、%)

会計名称	年度	流動負債 ①	負債算入地方債 (退職手当債等) ②	流動資産 ③	小計 ④=①+②-③	解消可能 資金不足額 ⑤	資金不足額 ⑥=④-⑤	事業規模 ⑦	資金不足比率 ⑥/⑦
水道事業	R元	246,378	0	1,488,427	△ 1,242,049	0	△ 1,242,049	1,096,399	-
	H30	476,806	0	1,598,707	△ 1,121,901	0	△ 1,121,901	627,080	-
病院事業	R元	1,488,069	141,259	1,200,977	428,351	0	428,351	6,179,442	6.9
	H30	1,572,477	149,459	1,433,836	288,100	0	288,100	6,091,982	4.7

※R元年度より、簡易水道事業が水道事業へ統合。

○法非適用企業

(単位：千円、%)

会計名称	年度	歳出 ①	負債算入地方債 (退職手当債等) ②	歳入 (繰越財源控除) ③	小計 ④=①+②-③	解消可能 資金不足額 ⑤	資金不足額 ⑥=④-⑤	事業規模 ⑦	資金不足比率 ⑥/⑦
簡易水道事業	R元	-	-	-	-	-	-	-	-
	H30	1,314,125	0	1,508,536	△ 194,411	0	△ 194,411	476,749	-
集落排水事業	R元	365,345	0	414,907	△ 49,562	0	△ 49,562	93,709	-
	H30	415,893	0	433,624	△ 17,731	0	△ 17,731	100,690	-
公共下水道事業	R元	2,639,584	0	2,979,082	△ 339,498	0	△ 339,498	352,507	-
	H30	2,776,302	0	2,851,884	△ 75,582	0	△ 75,582	390,623	-
浄化槽整備事業	R元	265,746	0	377,992	△ 112,246	0	△ 112,246	40,512	-
	H30	279,786	0	314,599	△ 34,813	0	△ 34,813	42,670	-
市民太陽光発電所事業	R元	43,234	0	60,134	△ 16,900	0	△ 16,900	47,233	-
	H30	45,644	0	58,490	△ 12,846	0	△ 12,846	45,493	-

○法非適用企業(用地関係会計)

(単位：千円、%)

会計名称	年度	歳出 ①	負債算入地方債 (退職手当債等) ②	歳入 (繰越財源控除) ③	土地収入見込額 ④	地方債現在高 ⑤	長期借入金 ⑥	小計 ⑦=①+②-③ +(⑤+⑥-④)	解消可能 資金不足額 ⑧	資金不足額 ⑨=⑦-⑧	事業規模 ⑩	資金不足比率 ⑨/⑩
工業用地造成事業	R元	8,069	0	14,552	23,805	0	0	△ 30,288	0	△ 30,288	30,288	-
	H30	240,386	0	243,575	26,432	0	0	△ 29,621	0	△ 29,621	29,621	-
宅地造成事業	R元	23	0	44,824	887	0	0	△ 45,688	0	△ 45,688	45,688	-
	H30	22	0	44,842	1,534	0	0	△ 46,354	0	△ 46,354	46,354	-

※用地関係会計において、未売出となっている区画分の土地収入額は「0」となる。

※用地関係会計の小計は、①+②-③-④がマイナスであれば、⑤地方債現在高、⑥長期借入金を算入した結果がプラスとなっても「0」となる。

※用地関係会計の事業規模は、地方債現在高と長期借入金の合計額。但し、実質黒字額と土地収入見込額の合計額を下回る場合は、実質黒字額と土地収入見込額の合計額とする。

※資金不足がある場合は、正の数値で表記。(黒字の場合はマイナス表記)